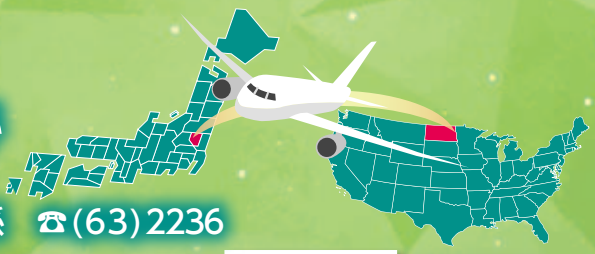
～友好都市との国際交流～

# グランドフォークス市の訪問団が鹿沼市を訪れました

学校教育課指導係　☎(63)2236













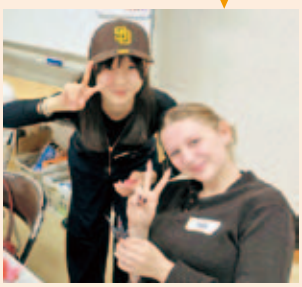
友好都市のアメリカ合衆国ノースダコタ州グランドフォークス市から、12人（中高生10人、引率者2人）の訪問団が市を訪れ、10月5日から12日までの8日間、ホストファミリーの家庭でホームステイをしました。

今回の訪問は、学生友好訪問団受入事業として、本市と交流のある海外友好都市の学生を受け入れることで、市民の国際理解を深めるとともに、グランドフォークス市との友好親善を図ることを目的としています。

訪問団は、市役所や議場を見学したり、着物の着付けや藍染めなどの日本文化を体験したりしました。また、市内の小中学校では授業に参加したほか、児童・生徒と書道や弓道を行い、日本の学校生活を楽しく学びました。

滞在中には、鹿沼秋まつりが開催されており、半てんを着て屋台を曳き、日本のお祭りも体験することができました。

## ホストファミリーになりました



受け入れ初日は、どんな子がくるのか、会話をちゃんとできるのかなどとても緊張しましたが、一緒に過ごすうちにたくさん話をすることができ、とても楽しい8日間となりました。

家では手巻き寿司をしたり、餃子やたこ焼きなどを作ったりしました。日本の料理を喜んで食べてくれたことが嬉しかったです。お互いが慣れたところでお別れの日が来てしまい、寂しい気持ちになりました。

この交流によって、グランドフォークス市のことを知ることができ「遠い国」ではなくなりました。これからも交流を続けて、助け合える関係が作れるといいなと思います。

## 訪問団の感想

彫刻屋台の迫力に思わず声が出ました。鹿沼秋まつりに参加できてよかったです。





自分で染めた藍染のデザインがとても気に入っています。

ホストファミリーと過ごす時間は楽しくて、あっという間でした。







▲訪問団から本市へ贈られたグランドフォークス市を象徴するバッファローが描かれた絵画とカップ



**訪問団引率者　KARAさんからのメッセージ**

皆さんのサポートとおもてなしに感謝します。温かく迎えてくれてありがとうございました。

今も毎日、日本での体験を思い出して余韻に浸っているくらい素敵な日々でした。鹿沼市の皆様には本当に感謝しています。